

1. 開会 進行：青田生涯学習課係長
2. あいさつ 西本教育長
3. 委嘱状交付 机上交付
4. 委員自己紹介 各委員及び事務局
5. 表彰状贈呈 井上委員
6. 委員長・副委員長の選出について
・井上委員を委員長、山本委員を副委員長に選出。
7. 報告
三木市教育の基本方針について } 河端生涯学習課長より説明（11分間）
8. 議事
令和2年度社会教育施策の推進について } 各課長、館長、所長より説明（36分間）

【質疑応答】

(井上委員長)

- ・では、「令和2年度社会教育施策の推進について」、質問等ある方は挙手にてお願いいたします。

(西田委員)

- ・資料4ページ、4の「社会教育団体の育成支援に関すること」で、老人クラブは公民館活動において要望に合った人を出しているし、小学校においても花植えや芋植えの協力をしているが、ここに老人クラブの記述がないのは老人クラブが福祉課所管ということで記述が難しいということなのか。それと、人の目の垣根隊活動において、老人クラブは協力させてもらっているが、それ以外の一般の人の活動が少ないように感じていて心配している。人の目の垣根隊に隊員登録している人に対して、実際に活動している人はどのくらいなのかを教えてください。

(井上委員長)

- ・老人クラブの活動は、老人クラブを所管している福祉課よりも、生涯学習を担うひとつの団体として、その活動内容は教育委員会所管の社会教育との関わりが深いと思うが事務局

はどう思っているのか。

(石田教育総務部長)

- ・ご指摘の通りだと思うので、ここの「社会教育団体の育成支援に関すること」の記述については、その書きぶりを工夫していきたいと思う。

(河端生涯学習課長)

- ・市民協議会や、まちづくり協議会にも老人クラブの方に入っただき活動をしていただいているので、「社会教育団体の育成支援に関すること」の記述については、工夫をしていきたいと思う。

(橋本教育センター所長)

- ・人の目の垣根隊に隊員登録している方は約 830 人で、その内おおよそ 180 人ぐらいが活動している。委員ご指摘のとおり隊員の高齢化が進んでおり、この状況を何とかしたいと気持ちで各関係団体に活動協力の呼びかけをしているが、現状は活動の実数が少ない状況である。

(井上委員長)

- ・先ほどの事務局からの説明にあったように、「社会教育団体の育成支援に関すること」の文章の中に老人クラブを入れていただくようお願いする。

(國井委員)

- ・私も人の目の垣根隊のことでお聞きしたい。明日、別所小学校で意見交換会が開催されるが、その会のメンバーの中に交通指導員の方が入っていない。交通指導員の方も人の目の垣根隊と同様に朝の子どもたちの登校時の見守りをしていただいているが、参加案内をすることは難しいのか。

(橋本教育センター所長)

- ・毎年 1 回、各学校で意見交換会を実施しており、これまで交通指導員の方に参加していただいていた学校もあるが全ての学校ではない。こちらの方から直接案内がいないかもしれないが、参加の呼びかけをすることは可能だと思うので検討させていただきたい。

(兼貞委員)

- ・公民館で部屋を利用した後のチェック表を窓口に提出しているが、公民館職員の方がその利用した部屋の確認を後でしていただいていると思う。それならば、使用した机や椅子を元の状態にもどすことや、コロナ禍の影響で利用後の部屋の机等の消毒を各自で行うことになっているが、高齢化が進んでおり、高齢者にはそういった片づけや消毒が負担になっているように聞いている。部屋の利用料を払っていることから、職員の方で机や椅子の片づけや消毒作業をやってもらうということにはできないのか。

(西田委員)

- ・例えば公民館利用者が使ったスリッパの消毒を職員がその都度行うことは効率が悪く職員への負担が大きいと、老人クラブでは各リーダーに自分のスリッパを持ち込む等の工夫をお願いしている。こういう時代なので、部屋の消毒についても使用者がするべきではないかと思う。参考として申し上げておく。

(井上委員長)

- ・代表館長の考えはどうか。

(狩場細川町公民館館長)

- ・各部屋の使用後の確認は行っている。机や椅子の並びは各部屋に基本のレイアウトを掲示しており、高齢の方には負担がかかるとのご意見ではあるが、公民館には利用していただいている部屋がたくさんあり、その片づけを職員が常にすることには無理があるため、机や椅子等は動かした方が元の状態にもどしていただきたいと考えている。また、消毒についても使用者にさせていただくのが基本でご協力をお願いしたい。それで今のところトラブルはないので、公民館と利用者が協力してこのコロナ禍を乗り切っていきたいと考えている。

(兼貞委員)

- ・よく分かりました。ありがとうございます。それともうひとつ、私の地域でも高齢化が進んでおり、家はたくさんある地域だが、回覧板が回ってくるのが面倒なのでいりませんという方が多く、高齢者に負担がかかっている。それで自治会をやめたいという方もあるという実情を知っていただきたい。

(河端生涯学習課長)

- ・前後するが、先ほどの公民館の利用について補足させていただきたい。利用後の部屋の机や椅子等の片づけや消毒については、公民館からのお願いであるので、全て一律の対応ではなく、利用者の実情に応じた対応もできると思うので、困っていることがあれば公民館事務所に相談していただきたい。

(小田市民協働課長)

- ・自治会を抜きたいわけではないが、地域の様々な行事に貢献したくても高齢のため体力的に無理があってできないため、自治会をやめる方があることは承知している。回覧板のことについては、市からの配布物や回覧を極力減らすようにしており、今後ともご意見をいただく中で、市として検討していきたいと思う。

(井上委員長)

- ・地域のコミュニティが希薄化しているというのが大きな要因だと思う。お年寄りが一人で住んでおられるお宅を今日はお元気ですかと回覧を持って行って声をかける。これも大事なことだと思う。それらを全て無くすということは、ますます地域のコミュニティが希薄化してしまう。これはおかしいのではないかと。高齢のために自治会の行事に貢献ができないということであれば、それを自治会がカバーして地域のコミュニティを守っていくという取り組みが大事だと思うので皆さんの協力をお願いしたい。

(石田委員)

- ・三木市では新型コロナの感染者が何人いるかを公表されているのか。またこの秋冬に感染が広がるのではないかとわれているが、老人や子どもを守るために、感染者が出た場合に守秘義務はあると思うが、例えば感染者情報を学校の校長や自治会長のみに教えるといったことは市として考えているのか。

(石田教育総務部長)

- ・三木市の陽性患者数については、県の方からの情報を受けて発表している。県が発表す

る情報が全てなので、三木市もその情報しか入ってこないし、個人を特定するような情報は無い。

(石田委員)

・そうすると、今まで三木市で何人感染されているのかは公表されているのか。

(井上委員長)

・公表されている。三木市で10人と出ている。神戸新聞には毎日出ている。

(石田委員)

・分かりました。ありがとうございました。

(越前委員)

・図書館で弱視の子どもに対してのサポートについては、いろいろなツールがあると思うが、どんな状況になっているのか。

(伊藤図書館長)

・大きな文字で書かれた本がある。

(越前委員)

・自動的に読むツールもあるが、そういうことは考えていないのか。デジタルツールも取り入れてみてはどうか。

(伊藤図書館長)

・現在のところはまだ取り入れられていないので、今後研究させていただきたい。

(越前委員)

・お願いします。それと人権に関して、海外の方が増えてきていると思うが、海外の方に対する災害時にどうするかであるとか、基本的な人権を守るような活動というのはどのような感じか。

(小田市民協働課長)

・市民協働課に多文化共生係を設置して、例えばこのたびのコロナに係る県や国からの情報は多言語化してホームページに載せる対応はしている。それから危機管理課と連携して外国人住民向けの避難情報もできるだけ早く多言語化して出したり、また「やさしい日本語」として非常に簡便な日本語化をしてお知らせするといった体制は危機管理課の方でも進めているところである。

(越前委員)

・今日の会議は事業予定に係ることなので、これを1年実施した後の報告のようなものがあると思う。できれば「少ない」や「多い」といった表現ではなく、実績的な数字を入れればよく分かるのではないか。

(井上委員長)

・年2回この会議はあるので、2回目の会議で1年の実績が出てくるようになっている。

(越前委員)

・分かりました。

(井上委員長)

・それでは最後に私の方から教育委員会に意見と要望を申し上げたい。地域の活動が停滞

してきている中で、国の方はデジタル庁を設置してインターネット化をどんどん推進しようとしているが、現実として、高齢者はインターネットやパソコンを使えない方が多い。しかしそれを無視してホームページを見てくれとか、SNSで調べてくれとかということが増えてきた。このようなお年寄りだけのご家庭にはついていけない状況が生まれてきている中で、教育委員会はどのような方策を考えているのか。そこで、要望としては各公民館を通じてお年寄りにもやさしいパソコン教室を開けないか一度検討していただきたい。

(青田生涯学習課係長)

・結びに、事務局の石田部長より一言お願いいたします。

(石田教育総務部長)

・今日は貴重な時間にご出席いただきありがとうございました。いろんなご意見をいただきました。今年はコロナの影響でいろんな事業が中止、延期、規模縮小といった形になっている。これからも我々はコロナと付き合いいかないといけないので、今までは中止、規模縮小としていた事業をこれからはどうやったらできるのか、どういう対策を講じたらやっていけるのかを考えながら今後の事業を進めていかないといけないと思う。また今後とも委員の皆様にはご意見、ご指導をよろしくお願い申し上げまして本日のお礼とさせていただきます。どうもありがとうございました。

9. その他

東播磨・北播磨地区、県・近畿・全国社会教育委員協議会関係予定 } 青田生涯学習課係長より説明
(2分間)

10. 閉会

あいさつ 山本副委員長

～午後 11 時 55 分終了～

記録者 青田生涯学習課係長